

若者・子どもたちの 「こころ」は今

～生きごちのいい社会を目指して～



神奈川県司法書士会
キャラクター
ユキくん

神奈川県司法書士会キャラクター
しほちゃん

登壇者・講師一覧

第一部 登壇者 基調講演 ～死にたいは、生きたい。つらい心を受けとめるために～

NHK制作局 文化・福祉番組部 Eテレ「ハートネットTV」※

プロデューサー 渡辺 由裕氏 (わたなべ よしひろ)

ディレクター 後藤 怜亜氏 (ごとう れあ)

※ハートネットTVは、NHKのEテレで月曜から木曜の夜8時から放送している福祉番組。病気や障害から子育て、社会保障制度まで“生きづらさ”を抱える全ての人に向けて放送されている。10年ほど前から自殺をテーマにした番組にも力を入れ、特設サイト「自殺と向き合う」には5000件以上のメッセージが寄せられている。3年前からは「生きるためのテレビ」というシリーズを立ち上げ、普段は口に出さない「死にたい」という気持ちを安心して語ってもらうことを目的に取り組む。去年夏には「#8月31日の夜に。」と題して、死にたいと悩む10代の声に耳を傾けるプロジェクトを、テレビとインターネット、ソーシャルメディアを連動させながら実施、大きな反響を得た。



FMヨコハマラジオパーソナリティ・ノンフィクションライター・自己尊重トレーニングトレーナー
北村 年子氏 (きたむら としこ)

滋賀県生まれ、京都府育ち。文芸誌・女性誌の編集者を経て、ノンフィクションライターとなり、少女200人を取材した『少女宣言』で話題を呼ぶ。女性・子ども・教育問題などをテーマに取材・執筆する一方、思春期電話相談員、ラジオDJとしても、若者の悩みにむきあう。またみずから、自死遺族としての経験をとおし、あらゆる人の自尊感情(セルフエスティーム)を育てるための「自己尊重ワークショップ」を精力的におこないつつ、子育てで支援、貧困対策、虐待防止活

動にも取りくむ。2008年「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」を設立、代表理事となる。教材用DVD映画『「ホームレス」と出会う子どもたち』を制作し、全国の学校で、「いじめ」「自死」「野宿者襲撃」をなくすための授業・人権尊重教育にとりくんでいる。2010年、女性や社会的弱者の視点にたった人権活動が認められ、第6回やよりジャーナリスト賞(女性人権活動奨励賞)を受賞する。現在、FMヨコハマ「ちょうどいいラジオ」

で第2・第4火曜 朝8時台～「おはよう!ネコさん」のパーソナリティ担当。主な著書に『おかあさんがもつと自分を好きになる本—子育てがラクになる自己尊重トレーニング』(学陽書房)『ま、いっかとか力をぬいて 幸せなママになるレッスン』(赤ちゃんとママ社)『子どもに「ホームレス」をどう伝えるか—いじめ・襲撃をなくすために』(ホームレス問題の授業づくり全国ネット編)『「ホームレス」襲撃事件と子どもたち—いじめの連鎖を断つために』(太郎次郎社エディタス)など。

第二部 登壇者 パネルディスカッション ～地域で作る生きごちのいい社会～

パネリスト

NHK制作局 文化・福祉番組部
Eテレ「ハートネットTV」

プロデューサー 渡辺 由裕氏 (わたなべ よしひろ)

ディレクター 後藤 怜亜氏 (ごとう れあ)

パネリスト

横浜市立大学保健管理センター※
臨床心理士

※横浜市立大学の学生・教職員向けの保健管理・相談窓口で、医師、保健師、看護師、臨床心理士等が在籍。近年は、学内だけでなく、司法書士等、外部の専門職とも連携してサポートを行っています。

パネリスト

司法書士
浅沼 賢史 (あさぬま さとし)

コーディネーター

司法書士
高原 晶子 (たかはら あきこ)

パネリスト

FMヨコハマラジオパーソナリティ・ノンフィクションライター・自己尊重トレーニングトレーナー
北村 年子氏 (きたむら としこ)

同時開催

1 親子法律教室「解釈のちから」～紙芝居で学ぶ法教育～

小学4・5・6年生とその保護者の方を対象に、紙芝居を題材としたワークショップをとおして楽しく法律が学べます。

2 学生のための働き方講座～就活に向けて適切なバイトのあり方～

就職を予定されている学生でバイト先に不安を抱えている方に就活や学生生活に役に立つ法律知識や情報を提供します。

講師

神奈川県司法書士会
労働問題ワーキングチーム

3 勉強会「発達障がいを抱える子ども」

周りが気づきにくい発達障がいについての知識を深めることにより、だれもが自分らしく成長できる環境について考えます。

講師

川崎市発達相談支援センター※ 所長
阿佐野 智昭氏 (あさの ともあき)

※川崎市の医療相談機能を備えた機関ネットワーク型のセンター。発達障がい者と家族のための相談機関として、医師・ケースワーカー・心理士等のスタッフを配置しています。

インフォメーション



2月17日「自死問題シンポジウム」のお知らせ 若者・子どものSOSを受け止めることができる社会を目指して

神奈川県司法書士会

当会では、関東ブロック司法書士会協議会主催により、下記のとおり無料市民公開講座を開催します。市民の皆さまには、この機会に、多重債務や貧困、労働問題等を背景とする自死問題に司法書士が取り組んでいることを知っていただけたらと願っております。

■タイトル

若者・子どもたちの『ころ』は今 ～生きごちのいい社会を目指して～

■日時

平成30年2月17日（土） 開場13:30/開演14:00～17:15

【第一部】基調講演～死にたいは、生きたい。つらい心を受けとめるために～（定員450名）

14:00～15:40 NHK制作局文化・福祉番組部 Eテレ「ハートネットTV」[プロデューサー 渡辺 由裕氏](#)
[ディレクター 後藤 怜亜氏](#)

[FMヨコハマラジオパーソナリティー・ノンフィクションライター・自己尊重トレーニングトレーナー](#)

[北村 年子氏](#)

【第二部】パネルディスカッション～地域で作る生きごちのいい社会～（定員450名）

15:50～17:15 渡辺 由裕氏、後藤 怜亜氏、北村 年子氏、[横浜市立大学保健管理センター臨床心理士](#)、
神奈川県司法書士会 司法書士浅沼賢史、同高原晶子

【同時開催】

13:00～15:20

①親子法律教室「解釈のちから」～紙芝居で学ぶ法教育～（小学4・5・6年生の児童とその保護者25組）

※事前申込が必要です。申込みの方法についてはお問い合わせください。

②学生のための働き方講座～就活に向けて適切なバイトのあり方～神奈川県司法書士会労働問題ワーキングチーム

15:30～17:15

③勉強会「発達障害を抱える子ども」 [川崎市発達相談支援センター所長 阿佐野 智昭氏](#)

■場所

横浜市立大学 金沢八景キャンパス（横浜市金沢区瀬戸2-2-2）

京浜急行線「金沢八景駅」下車徒歩5分、シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩7分

http://www.yokohama-cu.ac.jp/access/hakkei_campusmap.html

※一般来場者用の駐車場はありませんので、電車・バスを御利用下さい。

■費用

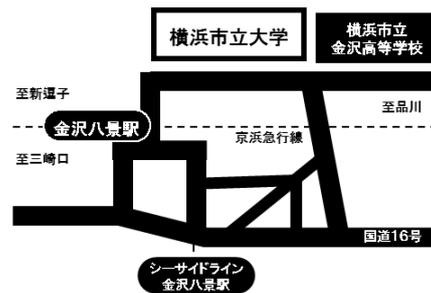
無料

■主管 神奈川県司法書士会

■主催 関東ブロック司法書士会協議会

■後援

神奈川県、横浜地方法務局、神奈川県教育委員会、かながわ自殺対策会議、横浜市健康福祉局、
神奈川県弁護士会、NHK横浜放送局、神奈川新聞社、tvk（テレビ神奈川）、FMヨコハマ、
日本司法書士会連合会、神奈川青年司法書士協議会



インフォメーション



2月17日「自死問題シンポジウム」のお知らせ 若者・子どものSOSを受け止めることができる社会を目指して

神奈川県司法書士会

■開催趣旨

我が国の年間自殺者数は、平成10年から14年連続で3万人を超えていましたが、近年では、ようやく減少傾向となっています。

しかし、現在も自殺者数が年間2万人を超えている現状は、未だ法的支援に辿り着くことができない方が多く存在することの表れでもあり、絶対数として容認できるものではありません。

特に「子ども・若年者」の自殺に関しては、死因の第一位が自殺との報告にもあるとおり、各種取り組みが効果をあげているとは言いがたく、更なる対応や取り組みが望まれるところです。

このような現状の中、当会では、「子ども・若年者」の支援に取り組む専門家に登壇いただき、市民として、親として、専門職として、若者・子どもたちの「死にたいほどのつらい思い」を受け止め、「生きていたい」と思える社会のありようを考えることを目的に標記シンポジウムを企画しております。

是非皆さまのご参加をお待ちしております。